

概要報告書

2021 年度

事業種別	広域安全事業
団体名	特定非営利活動法人 アジア太平洋地域アディクション研究所
事業名	薬物事犯者に対する回復支援コーディネート事業
<p>刑事司法手続の各段階にいる薬物依存症者にして、具体的な回復の道筋をコーディネートする司法サポート事業を、2000年7月から行っています。薬物事犯者が逮捕された時点から回復プログラムに取り組めるようにするために、保釈中からダルクなどの社会復帰施設や精神科病院に入寮、入院できるように手配したり、刑事裁判で情状証人として出廷して、今後の具体的な更生支援計画を証言したり、更生支援計画を説明する上申書を裁判所に提出したりしています。受刑中の人には、出所時に入寮してもらおうための回復施設や病院を紹介し、出所後スムーズに入寮、入院できるようなコーディネートを行っています。</p> <p>また、2019年からは受刑中の薬物事犯者で、出所後に依存症リハビリ施設であるダルクに入寮を希望する人に対して、その人にとって最も相性が良いと思われるダルクを無償で紹介するマッチングサポート事業も行っています。</p> <p>活動実績としては、2021年度の助成期間中に、新規に18人とコーディネート契約を締結し、証人出廷4回、保釈出迎え4回、精神科病院の入退院同行3回、依存症リハビリ施設の入寮同行3回、出所出迎え3回、面会・面談53回、地方出張をのべ47回実施することができました。</p> <p>今後も、司法サポート事業の草分けとして、薬物事犯者に対して厳罰主義を採用していながら、治療処分制度のないわが国において、刑事司法手続の各段階にいる薬物事犯者の方々に向けて、具体的な回復の道筋を提供していきます。</p>	
 <p>当法人の事務所の外観</p>	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。